**国語教師に取材**

**2018/12/17**

情報リテラシⅡ　柴田淳司先生

K18F2098 山田実穂

Q1.教師になるまで

* 教員採用試験は厳しい（実際の倍率とか載せるといいと更に良いと思います。 　参考までに　[www.mext.go.jp/a\_menu/shotou/senkou/1243155.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/senkou/1243155.htm) 　（文科省ホームページ）
* 教育学部であったが採用試験の対策は授業としては全く無く、すべて独学（過去問をひたすら）
* 教育学部の生徒でも就職多い（塾や予備校、出版社など）
* 私立の場合、試験での採用も勿論あるが大学へ指名があったり、コネの場合もある

Q2.おおよそのタイムスケジュール

朝→補習や部活、授業準備のために始業時間よりも早く出勤

　　授業前には朝礼

授業中→授業が入っていない空き時間も授業準備、または書類作成

※書類作成がかなり大変（量がある行事の実施要項や予算、会議資料、来年度へ向けての反省のまとめ、模試の申し込み・予算・発注・会計処理

（部活、委員会、進路、教科、担任などの教師の担当ごとに作成が必要）

土日→部活指導

Q3心がけていること

「その他の子はいない」

* 誰一人手をかけなくていい生徒はいない
* ひとりひとりと向き合う
* 先生はひとりひとりを観ていると知らせる
* 手のかからない子にも目を見る
* 普通の子も誰しもが悩みをもっている

「必要なことをどう与えていくか」

生徒によって考え方、論理思考が違う→色々なものを与える

ex) 分かりやすい授業（100％を与える）をすると努力をしない生徒もいれば自力で学ぶ生徒もいる。（差が出る）しかし難しくしすぎるとついていける生徒とついていけない生徒が出てくる。

基礎＋中間＋応用

授業＝

**テストはフィードバック**

**教育とは、未熟な生徒を教えるということ**